

平成30年度

# 保育所の自己評価表

吉野川市立鴨島呉郷保育所

【評価対象期間】  
平成30年4月1日から平成31年2月28日

【評価責任者】  
吉野川市鴨島町飯尾550-24  
吉野川市立鴨島呉郷保育所

所長 川真田 紘美

## 保育所における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項 目

### ◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				重点目標は年度始めに子どもの実態に合うよう見直しを実施している。 全体的な計画は保育の基本方針に基づき作成している。 子どもの育ちを受け止め、実践できるようにしている。保護者に利用者アンケートを実施して保護者の意向を次年度に反映できるようにしている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				3歳未満児・障がい児には個別の指導計画を作成し、記録を記載して一人一人に配慮している。クラス内研修で話し合い、その後職員間で情報の共有をして保育に反映している。 全体的な計画・年間計画を基本とし、保育日誌で日々の保育を振り返りながら、月間保育計画を立案している。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			年齢による発達に合わせたプログラムである。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			子ども自身が日々の保育の中で経験したこと、経験を通して成長に繋がったことを行事に繋げるようにしている。保育士も子どもの成長を見通しながら計画や内容を考えていくように話し合い、連続性のある取り組みを行い、評価・改善につなげていくようにしている。保護者会役員会で行事の説明をし保護者の意見などを取り入れている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営 ・ 組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職種・経験年数(所在年数含)等を考慮し、職員配置を行い全職員が協力できる体制づくりを実施している。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			職員会議を毎月、必要に応じて開き相互理解を深め協力体制をとっている。勤務時間内に全職員が集まることができない。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				保育所保育指針に基づき、保育所教育及び保育の内容に関する全体的な計画を作成している。各クラスの保育計画は全体計画に基づき計画している。指導計画は、実施内容に対して各担当が評価し記録に残している。異年齢間の活動の充実については、効果的な方法を試案している。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				前年度の実践内容を参考にし、各年齢の課題なども見出しながら活動内容に活かすようにした。避難訓練の年間計画に沿って実施している。毎朝の健康状態の観察と保護者からの聞き取り、連絡帳の活用などにて適切に行っている。保健便りを発行し、家庭への啓発に努めている。
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。			○				
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。			○				
つ 情 報 に 関 し	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で職員会議などで全職員に周知している。個人情報に関しては㊟文書として保管場所を決めて保存している。個人情報保護のガイドラインを作成している。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				業者による年1回の遊具の点検、遊具・用具担当の職員による毎月の遊具の点検を実施している。防犯マニュアルに沿って年2回訓練を行っている。低年齢児の避難・職員数が少ない時間帯等は実際にできるか密に計画し行動できるようにしておくことが課題である。保護者の目に付きやすい場所に給食サンプル・感染症の発生数など掲示板を使用し掲示している。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納経理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				保護者会監事に監査をうけている。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			交流活動は授業参観見学・秋のフェスティバル、就学前には入学体験などの行事に参加している。小学校における研修会に保育所の職員も参加しているが、全体での研修に十分な時間が取れないので、個々に受講した内容も含め情報を伝えたい。保育所保育要録を作成し引き継ぎを行っている。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。			○		
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		保護者以外を対象とした参観の持ち方は、これからの課題である。子どもが所内で日々経験し、成長していることを毎月のおたよりやクラスだより等で保護者に伝え、子どもに対する理解や関心をもってもらうように努めている。地域の天寿会の方々・南児童館での地域の親子との交流を続けている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。			○		一時預かり保育を実施している。参観日を利用して、保護者研修会を実施している。送迎時に子どもの健康面や家庭・保育所での様子などを伝え合い、共有している。また、保護者からの要望や相談がある時は面談をしている。保護者からの要望があれば子育て支援課(子ども相談室)・健康推進課・きりん教室・児童相談所など専門機関との連携をし情報を提供している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			伝えたい内容を写真などを使って関心をもってもらいやすいように取り組んでいる。(毎月の保育所だより・クラスだより)保護者がある時期に関心をもっている内容を把握して、情報を伝えるようにしている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	アンケート調査を実施し、保護者の意見が述べられるようにしている。アンケート結果を公開し、意見を反映するようにしている。第三者評価については、今後導入していかなければならないと思う。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			